



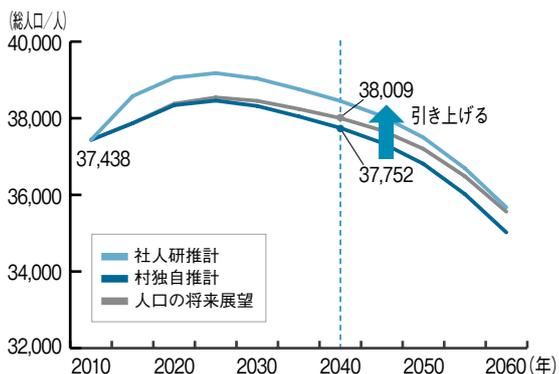
世人事(ひとごと)ではない“人”の話

～統計データで見る「東海村人口ビジョン」～

最終回となる今回は、「**村の将来人口推計と、高校生の就職や働き方に関する希望**」についてご紹介します。詳細は、村公式ホームページに掲載の「東海村人口ビジョン」をご覧ください。

【問い合わせ】企画経営課企画政策担当 (☎282-1711 内線1336)

●村の将来人口推計(「日本の地域別将来推計人口」(平成25年3月推計)、国立社会保障・人口問題研究所(社人研))



▼**村の総人口は…**2005～2010年の合計特殊出生率や人口移動等が継続することを前提に、2040年に3万8,456人になると推計されています。しかし、社人研による推計値と実績値にはすでに相違があるため、村では、社人研推計を基に、2040年の総人口は3万7,752人になると独自に推計しました。

▼**村独自推計を基本に…**村では、現状の合計特殊出生率(1.8前後)と転入超過を維持し、村の人口増を支える若い世代の定住促進等に取り組むことで、2040年の総人口約3万8,000人を目指しています。

●県内に在学する高校生の就職・居住に関する意識(東海村に居住する高校生)

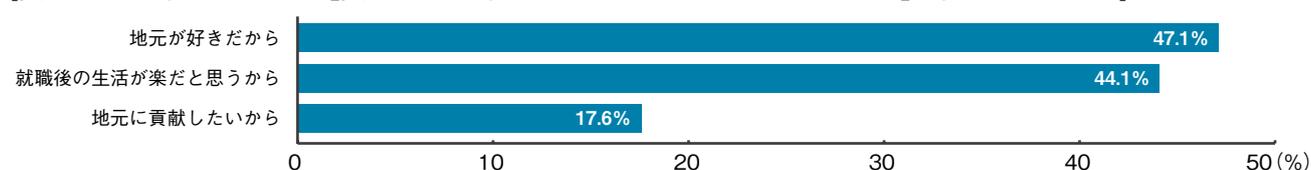
【就職や働き方に関する希望】



【将来働く場所の希望】



【「今住んでいる市町村で働きたい」「今住んでいる市町村でなくても、なるべく近くで働きたい」と考える理由トップ3】



▼**まち・ひと・しごと創生研究会(株式会社常陽銀行主催)のアンケート調査(2015年・本村を含む10市町村・30高校の3年生対象)結果によると…**村に居住する高校3年生の約半数は、「企業規模に関わらず、やりたい仕事のできる企業に就職」することを希望しています。働く場所としては、「今住んでいる市町村」と「今住んでいる市町村ではなくても、なるべく近くで」を合計すると48.5%と最も多くなっており、その理由として「地元が好きだから」や「地元貢献したいから」という地元への愛着に関連する項目が挙げられており、他市町村と比較して高い傾向にあります。

将来にわたって活力ある東海村を維持していくためには…村に居住する若い世代が抱えている仕事や働く場、結婚・出産・子育ての希望を実現するとともに、若い世代に“まち”への誇りや愛着を持ってもらうことが重要です。これらの取り組みが“村の新たな魅力”につながり、若い世代のさらなる定住が促進されることが期待されます。村では、その実現に向けて「東海村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に推進していきます。

